

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2013-9841 (P2013-9841A)

【公開日】平成25年1月17日 (2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2011-144623 (P2011-144623)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月30日 (2013.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示装置で行われる図柄変動ゲームが当りか否かを抽選する当り抽選が行われ、前記当り抽選に当選した場合には前記図柄変動ゲームの終了後に入賞手段を開放する当り遊技が行われ、前記当り遊技の終了後に前記当り抽選の抽選確率状態を前記当り抽選の当選確率が低確率抽選状態よりも高まる高確率抽選状態に制御可能であって、前記高確率抽選状態である可能性があることを遊技者に報知する潜伏演出モードを含む演出モードを設定可能な遊技機において、

前記当り抽選を当選とする場合には前記当り遊技の終了後の遊技状態を制御するための情報を定めた当り情報が決定されるようになっており、前記当り抽選に当選する場合に前記当り情報に基づいて前記図柄変動ゲームで確定的に停止表示させる演出用の図柄を決定する演出用図柄決定手段と、

前記当り遊技の終了後の遊技状態に基づいてモード移行頻度を設定し、前記モード移行頻度にしたがって前記演出モードの移行の態様を制御するモード移行制御手段と、を備え、

前記演出用の図柄には、前記当り情報に基づく前記当り遊技の終了後の遊技状態が前記低確率抽選状態及び前記高確率抽選状態の何れの場合にも決定される複数種類の特定の演出用の図柄を含み、

前記モード移行頻度には、前記当り遊技の終了後が前記高確率抽選状態となる場合に設定される高確率用のモード移行頻度と、前記当り遊技の終了後が前記低確率抽選状態となる場合に設定される低確率用のモード移行頻度とを含み、

前記モード移行制御手段は、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として同一の移行の態様で制御する場合を含むとともに、前記特定の演出用の図柄が決定される場合における前記モード移行頻度の設定に際し、前記特定の演出用の図柄の種類に基づいて前記モード移行頻度を設定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記モード移行制御手段は、前記特定の演出用の図柄が決定される場合における前記モード移行頻度の設定に際し、前記当り情報と前記特定の演出用の図柄の種類とに基づいて

前記モード移行頻度を設定する請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技球の入球を契機に前記図柄変動ゲームの始動条件を付与し、入球口を遊技球が入球し易い開放状態及び入球し難い閉鎖状態に可変させる開閉機構を有する始動口を備え、

前記当り遊技の終了後には前記開閉機構の開放状態を取り得るように動作する単位時間あたりの開放時間が増加する開放時間増加状態に制御可能になっており、

前記モード移行制御手段は、前記当り遊技の終了後が前記開放時間増加状態とならない場合、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として同一の移行の態様で制御する一方、前記当り遊技の終了後が前記開放時間増加状態となる場合、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として異なる移行の態様で制御する請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、表示装置で行われる図柄変動ゲームが当りか否かを抽選する当り抽選が行われ、前記当り抽選に当選した場合には前記図柄変動ゲームの終了後に入賞手段を開放する当り遊技が行われ、前記当り遊技の終了後に前記当り抽選の抽選確率状態を前記当り抽選の当選確率が低確率抽選状態よりも高まる高確率抽選状態に制御可能であって、前記高確率抽選状態である可能性があることを遊技者に報知する潜伏演出モードを含む演出モードを設定可能な遊技機において、前記当り抽選を当選とする場合には前記当り遊技の終了後の遊技状態を制御するための情報を定めた当り情報が決定されるようになっており、前記当り抽選に当選する場合に前記当り情報に基づいて前記図柄変動ゲームで確定的に停止表示させる演出用の図柄を決定する演出用図柄決定手段と、前記当り遊技の終了後の遊技状態に基づいてモード移行頻度を設定し、前記モード移行頻度にしたがって前記演出モードの移行の態様を制御するモード移行制御手段と、を備え、前記演出用の図柄には、前記当り情報に基づく前記当り遊技の終了後の遊技状態が前記低確率抽選状態及び前記高確率抽選状態の何れの場合にも決定される複数種類の特定の演出用の図柄を含み、前記モード移行頻度には、前記当り遊技の終了後が前記高確率抽選状態となる場合に設定される高確率用のモード移行頻度と、前記当り遊技の終了後が前記低確率抽選状態となる場合に設定される低確率用のモード移行頻度とを含み、前記モード移行制御手段は、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として同一の移行の態様で制御する場合を含むとともに、前記特定の演出用の図柄が決定される場合における前記モード移行頻度の設定に際し、前記特定の演出用の図柄の種類に基づいて前記モード移行頻度を設定することを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記モード移行制御手段は、前記特定の演出用の図柄が決定される場合における前記モード移行頻度の設定に際し、前記当り情報と前記特定の演出用の図柄の種類とに基づいて前記モード移行頻度を設定することを要旨とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

請求項3に記載の発明は、請求項1又は請求項2に記載の遊技機において、遊技球の入球を契機に前記図柄変動ゲームの始動条件を付与し、入球口を遊技球が入球し易い開放状態及び入球し難い閉鎖状態に可変させる開閉機構を有する始動口を備え、前記当り遊技の終了後には前記開閉機構の開放状態を取り得るように動作する単位時間あたりの開放時間が増加する開放時間増加状態に制御可能になっており、前記モード移行制御手段は、前記当り遊技の終了後が前記開放時間増加状態とならない場合、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として同一の移行の態様で制御する一方、前記当り遊技の終了後が前記開放時間増加状態となる場合、前記高確率用のモード移行頻度及び前記低確率用のモード移行頻度において前記演出モードの移行の態様として異なる移行の態様で制御することを要旨とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0206
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0206】

次に、上記各実施形態及び別例（変形例）から把握できる技術的思想について以下に追記する。

（イ）前記当りには、前記当りの当選時における遊技状態を前記当り遊技の終了後も維持させることを定めた小当りを含み、前記モード移行頻度には、前記小当りの当選に基づく前記当り遊技の終了後にのみ設定され得る小当り専用のモード移行頻度が含まれている。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0207
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0207】

（ロ）前記モード移行制御手段は、前記特定の演出用の図柄が決定される場合における前記モード移行頻度の設定に際し、前記当り情報と前記特定の演出用の図柄の種類とに基づいて前記モード移行頻度を設定する。